

ごあいさつ



松前町長
白石 勝也

松前町の皆様、明けましておめでとうございます。21世紀は心の時代といわれながら、去年もイラク戦争をはじめ各地でテロや争いが続きました。人間は様々な欲望をもって生きていくものです。しかし、力づくで欲望を満たしたり、殺しあったりする時代は20世紀で終わりにしたいという願いから、世界各地で21世紀は「心の時代」、「人権の時代」といわれているのだと思います。

私は町長として一期4年間、皆様にお約束したとおり、分かりやすい町政を心がけ、自分の言葉でお話をさせていただくと共に皆様のご意見にも耳を傾け、常に公平な対応、クリーンな姿勢を貫いてきたつもりです。そうした私の気持ちや考え方を大勢の皆様が理解し、支援してくださったおかげで、4年間町政を担当することができました。これからもできるだけ大勢の住民の皆様と、様々な問題について話し合いを続けていきたいと思えます。

さて、二期目も私の基本方針は、見える、分かる、クリーンな町政を推進していくことです。松前町の水はあくまで清く、その清い水に住む住民の皆様は更に清らかなものであると信じています。

今年の最重要課題と位置付けておりました合併問題が中断することになりましたが、これからのまちづくりの基本理念は、福祉、教育、安全、活力であり、いささかも変更されるものではありません。これからの高齢社会に対応していくために、総合病院の誘致に取り組みと共に、高齢者も利用できる県営のスポーツ施設についても県に強く働きかけていきたいと思っています。さらに、ベッドタウンから快適なライフタウンをめざすために、働く場の確保として、優良企業や大型ショッピング施設の進出希望に対しても、適切な対応をしていきたいと思っています。同時に、文化都市にふさわしい基盤整備として、公共下水道の推進、幹線道路の整備や改良、生活関連道路の改良などにも引き続き取り組んでいきます。

厳しい財政状況を踏まえて、支出の抑制に努めて参りますが、住民の皆様にもごみ対策をはじめ、皆様ができること、地域で取り組めることについては、これまで以上のご協力をお願いいたします。時代は変化を続けています。現状にただ固執したり、既得権を守るだけでは、未来への展望は開きません。時代の流れを的確にとらえ、その先に何が予想されるのか、それを鋭く見通すことが大事です。私もこの一年、皆様の先頭に立って、住んで良い、暮らして良い、また、働く場もある快適なライフタウン松前をめざしてがんばりたいと決意を新たにしています。

この一年、皆様の変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げますと共に、皆様にとって充実したすばらしい一年になるよう心から祈念を申し上げます。

謹んで

新年のお慶びを

申し上げます

助役

石川 晋吾

収入役

佐伯 和雄

教育長

赤星 皓一